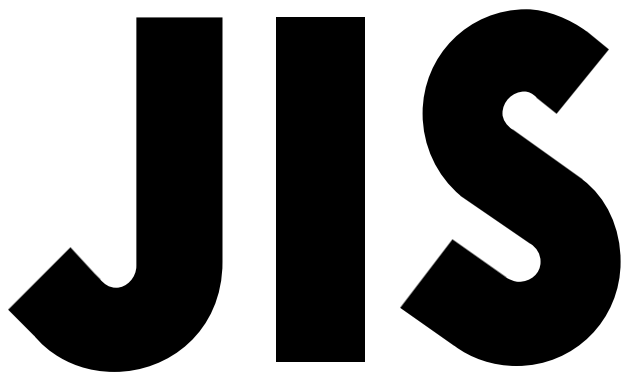




光反射減衰量測定器試験方法

JIS C 6189 : 2022

(JSA)

令和 4 年 2 月 21 日 改正

認定産業標準作成機関 作成・審議

(日本規格協会 発行)

一般財団法人日本規格協会 電子分野産業標準作成委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	平 本 俊 郎	東京大学
(委員)	石 井 紀 彦	日本放送協会
	河 村 真紀子	主婦連合会
	渋谷 隆	株式会社白山
	諏 訪 正 樹	KOA 株式会社
	内 藤 恵美子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサル タント・相談員協会
	藤 井 哲 郎	東京都市大学
	松 井 隆	日本電信電話株式会社
	山 口 大 輔	総務省国際戦略局
	山 田 誠	大阪府立大学

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 16.3.20 改正：令和 4.2.21

担 当 部 署：経済産業省産業技術環境局 国際電気標準課
(〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1)

官 報 掲 載 日：令和 4.2.21

認定産業標準作成機関：一般財団法人日本規格協会
(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル)

素 案 作 成 者：一般財団法人光産業技術振興協会
(〒112-0014 東京都文京区関口 1-20-10 住友江戸川橋駅前ビル)

審 議 委 員 会：電子分野産業標準作成委員会（委員長 平本 俊郎）

この規格についての意見又は質問は、上記認定産業標準作成機関又は素案作成者にご連絡ください。
なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに見直しが行われ速やかに
確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 標準試験条件	3
5 試験の概要	4
5.1 試験の種類	4
5.2 不確かさの算出方法	4
5.3 確度の算出方法	4
5.4 不確かさの対数表示	5
6 光反射減衰量の不確かさ及び確度の試験	5
6.1 試験の概要	5
6.2 標準試験条件における光反射減衰量の不確かさ及び確度の試験	6
6.3 動作条件における光反射減衰量の不確かさ及び確度の試験	7
6.4 拡張不確かさの算出	10
6.5 確度	11
7 その他の性能試験	11
7.1 出力光パワー試験	11
7.2 出力光中心光波長及び光スペクトル幅試験	11
8 機械的強度試験	13
8.1 試験の概要	13
8.2 振動試験	13
8.3 落下試験	13
附属書 A (規定) 不確かさの規定	14
附属書 B (参考) 製品群としての測定装置の確度	18
参考文献	21
解 説	22

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 14 条第 1 項の規定に基づき、認定産業標準作成機関である一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準の案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS C 6189:2004** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

光反射減衰量測定器試験方法

Test methods of optical return loss meters

1 適用範囲

この規格は、連続光反射率測定法によって、光ファイバを用いた光部品の光反射減衰量を測定する光反射減衰量測定器の試験方法について規定する。

2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格のうち、西暦年を付記してあるものは、記載の年の版を適用し、その後の改正版（追補を含む。）は適用しない。西暦年の付記がない引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS C 1002 電子測定器用語

JIS C 6832:2019 石英系マルチモード光ファイバ素線

JIS C 6835:2017 石英系シングルモード光ファイバ素線

JIS C 60068-2-6:2010 環境試験方法－電気・電子－第 2-6 部：正弦波振動試験方法（試験記号：Fc）

JIS C 60068-2-31:2013 環境試験方法－電気・電子－第 2-31 部：落下試験及び転倒試験方法（試験記号：Ec）

JIS C 61300-3-2:2012 光ファイバ接続デバイス及び光受動部品－基本試験及び測定手順－第 3-2 部：シングルモード光デバイスの光損失の偏光依存性

JIS Z 8103 計測用語

JIS Z 8120 光学用語

ISO/IEC Guide 98-3:2008, Uncertainty of measurement—Part 3: Guide to the expression of uncertainty in measurement (GUM: 1995)

3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、次によるほか、**JIS C 1002**、**JIS Z 8103** 及び **JIS Z 8120** による。

3.1

光反射減衰量

光源から光部品に入射する光パワーと、その光部品から反射して光源側に戻る光パワーとの比

注釈 1 単位：デシベル（dB）